

株 主 の 皆 様 へ

FUJI NIHON SEITO CORPORATION



第91期 事業報告書

2013年4月1日から2014年3月31日まで 証券コード：2114

 フジ日本精糖株式会社

## 企業理念

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します。

## 経営方針

- 1 顧客第一主義の徹底
- 2 社員が会社と共に成長し自己実現を目指す企業文化の形成
- 3 社会に評価される企業価値の向上
- 4 研究・開発の推進による新たな価値の創造
- 5 公正で透明性のある企業活動の徹底
- 6 地球に優しい環境経営の強化・拡大
- 7 社会に貢献する企業市民活動の推進

代表取締役社長 船越 義和

### CONTENTS

トップインタビュー	..... P 2
セグメント別の状況	..... P 5
連結財務諸表	..... P 7
会社の概況／株式の概況	..... P 9
トピックス	..... P10

### ● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の海野 進が撮影した作品です。



撮影地 一山梨県 精進湖 一「黄金富士」

## 事業環境の変化を注視しつつ、販売拡大と利益の回復を目指します。

**Q** 当期（2014年3月期）の営業状況をご説明願います。

**A** 各事業の減益要因が重なり、前期の利益水準を下回りました。

当期は精糖事業、機能性素材事業ともに増収を果たし、連結業績は、売上高が20,155百万円(前年同期比2.0%増)となりましたが、利益面では営業利益810百万円(同18.6%減)、経常利益990百万円(同13.4%減)、当期純利益594百万円(同17.1%減)と、前期を下回りました。

精糖事業は、飲料メーカーを中心とする既存ユーザーの荷動きが良好となるなか、営業体制の強化を図り、顧客ニーズを捉えた営業活動を推進したことで、販売数量が増加しました。しかし、販売単価の低い糖種の増加が大きく、エネルギーコスト等の上昇も重なり、減益となりました。

機能性素材事業は、切花活力剤が好調に推移する一方、「イヌリン」製品は大手ユーザー向けの荷動きが悪く、国内販売数量が伸び悩みました。さらにタイで建設を進めていた合弁工場の完成・稼働が3ヶ月ほど遅れたため、先行費用が増加し、減益となりました。ゼラチン、ペクチン等の天然添加物素材を販売するユニテックフーズ株式会社は、コンビニエンスストア向けやOEM販売により増収を確保しながらも、下期から低調となり、また輸入原料の値上げ転嫁が遅れたことから減益となりました。

**Q** タイ工場による「イヌリン」の生産・販売状況はいかがですか？

**A** 4月末から本格生産を開始。供給力増強に対応し、用途開発を強化します。

タイ・バンコクに合併設立したFuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.の「イヌリン」生産工場は、前述の通り予定より3ヶ月ほど遅れて、平成26年2月から試験製造をスタートし、4月末から本格的な商業生産に入りました。

今後は、タイ工場からの供給力増強に対応すべく、「イヌリン」の用途開発をさらに充実させ、国内販売を強化していきます。また、東南アジア向けとしては、バンコクに設立した販売子会社を拠点に、各国代理店を通じて拡販展開していきます。こうした取り組みにより、タイ工場は3年以内の収益化、5年以内を目処とするフル稼働を目指します。

**Q** 次期（2015年3月期）の見通しをお聞かせください。

**A** 採算性の重視とイヌリンの積極的な拡販による増収・利益回復を計画しています。

精糖事業については、国内の砂糖消費の漸減傾向が続くものの、販売努力によって当期同水準の販売数量を確保できる見込みを立てています。しかし、円安による原材料の高騰や加工費の上昇を受け、利益は微増にとどまると予想しています。4月からの消費増税による変化については、導入前の仮需の影響で出だしは低調な荷動きとなっていますが、年間では大きな影響はないと思われます。

機能性素材事業は、「イヌリン」の生産・販売体制強化を踏まえ、販売数量の伸びによる増収・増益を見込んでいます。タイ合弁会社では「イヌリン」の初年度販売について、生産の本格化と品質の安定化を前提条件に、大幅販売数量増を計画しています。

事業別の重点的テーマとして、精糖事業では、現在進められているTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)をはじめとする貿易協定交渉の成り行きを注視しつつ、採算性を重視した営業活動を強化していきます。

機能性素材事業では、先に述べましたタイ産「イヌリン」の国内外における拡販展開と同時に、食品添加物加工の採算向上に努め、切花活力剤については新製品および家庭用製品の拡販に注力していきます。ユニテックフーズ株式会社は、販売価格の適正化に努め、またブレンド(素材混合)事業を本格展開していくことで、増収増益を目指します。

以上により次期の連結業績は、売上高21,000百万円(当期比4.2%増)、営業利益850百万円(同4.9%増)、経常利益960百万円(同3.1%減)、当期純利益600百万円(同0.9%

増)を見込んでいます。

**Q** 経営理念に掲げる環境経営・社会貢献についてお聞かせください。

**A** 社会とともに共生・発展する企業のあり方を追求し、実践していきます。

当社は、企業としての社会的責任を果たすべく、経営方針に「地球に優しい環境経営の強化・拡大」「社会に貢献する企業市民活動の推進」を掲げ、実践しています。

環境経営については、節電・節水・リサイクルの推進による省資源化や、他社との共同配送による排気ガス削減、環境にやさしい製品開発等を推進しています。2006年12月には、環境マネジメントに関する国際規格「ISO14001」の認証を精製糖業界で初めて全社取得・導入しました。

社会貢献については、保育園等における花育活動や福祉施設への車いす等の寄贈、また育英会への寄付等を通じ、良き企業市民として地域社会との絆を深めています。また、環境経営にも関連する取り組みとして、本社および清水工場周辺

の清掃活動に社員が積極的に参加しています。

引き続きこうした活動に注力しつつ、社会とともに共生・発展する企業のあり方を追求してまいります。

**Q** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 先行き不透明な環境のなか、事業投資に資力を重点配分したく存じます。

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営課題の一つとして位置づけ、安定的利益還元を重視しつつも、毎期の業績に応じて配当金額を決定させていただいております。

この度の期末配当は、業績および財務状況を鑑み、当初計画通りの1株当たり9円(前期比1円減配)とさせていただきました。次期の期末配当につきましては、貿易協定交渉の情勢など事業環境の先行きが不透明さを増すなか、今後に向けて事業投資に資力を重点配分したく、当期同額の1株当たり9円を予定しています。

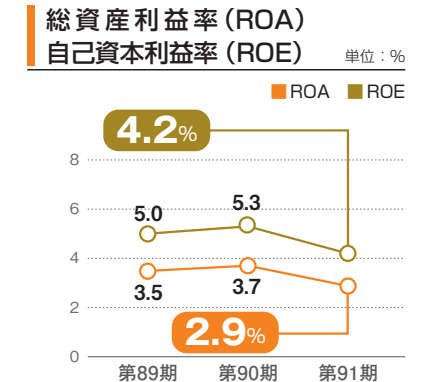
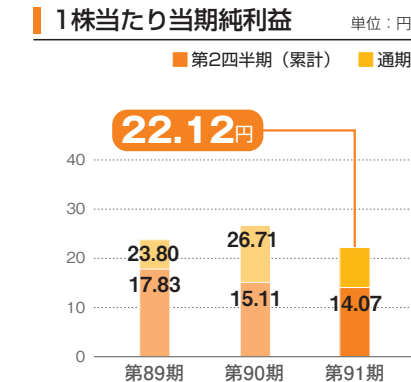
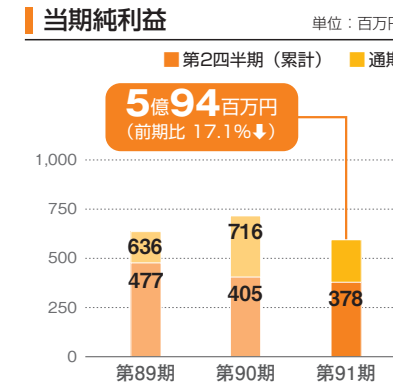
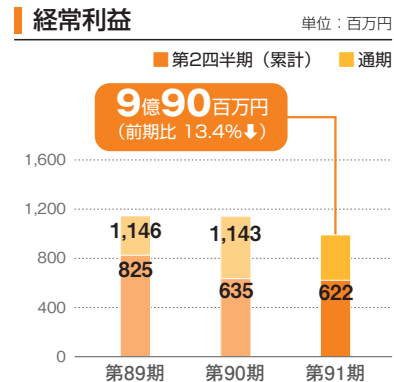
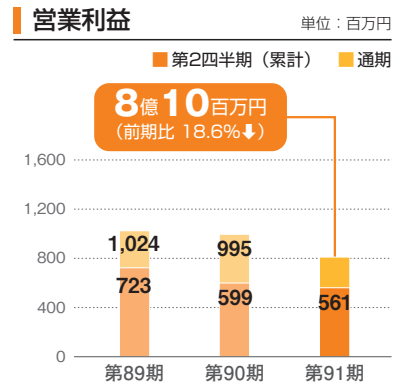
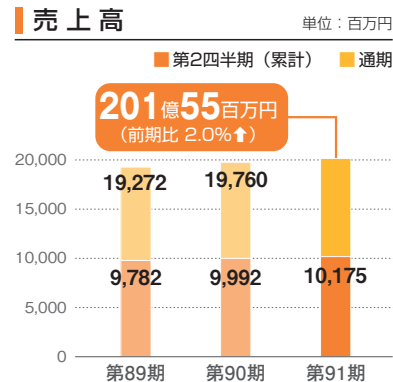
株主の皆様におかれましては、引き続き当社の成長をお見

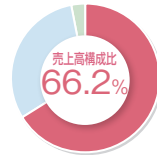
守りいただき、ご理解ならびにご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



連結業績ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS





## 精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

当期の概況

売上高：13,342百万円  
営業利益：1,003百万円

精糖事業につきましては、海外原糖市況は期初ニューヨーク先物市場17.69セント（1ポンド当たり）で始まり、ブラジル・インド・タイで生産が順調なことから低調な相場が続きましたが、ブラジルで降雨による生産の遅れが報じられると投機筋の買いが入り相場は上昇へと転じました。その後、ブラジルサントス港の砂糖積出施設の火災で一時的に相場が急騰する場面がありましたが、その影響は限定的でブラジルの天候が回復し、生産が順調に推移すると再び供給過剰を背景に相場は下落に転じました。しかし、14セント台まで下落すると投機筋の買戻しとブラジルでの早魃懸念から値を戻し17.77セントにて期末を迎えました。

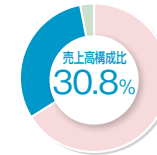
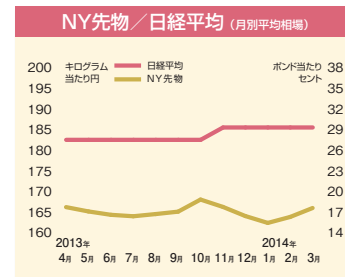
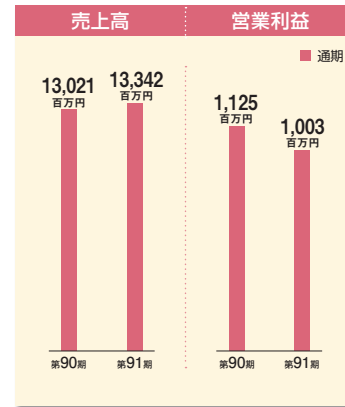
ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

期初	高値	安値	期末	平均
17.69	20.16	14.70	17.77	17.00

一方、国内製品市況は期初東京現物相場183円（上白大袋1キログラム当たり）で始まりましたが、エネルギーコスト等の上昇に伴い、11月に製品出荷価格を3円上げ、そのまま186円で期末を迎えました。

製品の荷動きについては、菓子類や調味料向けが好調に推移したことや、夏場の猛暑により清涼飲料向けも増え、液糖、グラニュー糖を中心に前期を上回る販売数量となりました。

この結果、売上高は、13,342百万円（前年同期比2.5%増）と増収となりましたが、エネルギー価格の高騰による製造コストの上昇等により、営業利益は1,003百万円（同10.8%減）と減益となりました。



## 機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

当期の概況

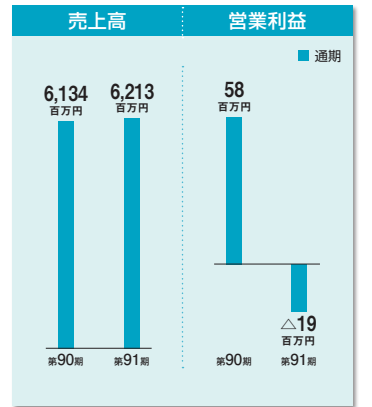
売上高：6,213百万円  
営業損失：19百万円

機能性素材事業につきましては、機能性食品部門で引き続きイヌリンの脂肪代替機能を活かした販売活動に注力いたしましたが、円安に伴う各種食品原料の価格上昇の影響を受け、販売数量は減少いたしました。一方、平成24年6月、タイに設立したイヌリン製造会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.は、工場建設が予定より3ヶ月遅れましたが、平成26年2月から試運転を開始いたしました。

切花活力剤部門では、夏場の猛暑や冬の大雪の影響もあり花卉類の需要が依然として低迷傾向にあるなか、新製品として業務用水揚促進剤を発売するなど販売拡大に努めた結果、販売数量は前期比で増加いたしました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社におきましては、主力商品であるコーゲン等の拡販効果により増収となりましたが、円安や原料高による仕入コストの上昇により減益となりました。

これらの結果、売上高は6,213百万円（前年同期比1.3%増）となりましたが、タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.での先行費用の増加などにより、営業損失19百万円（前年同期 営業利益58百万円）となりました。



## 不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

当期の概況

売上高：599百万円  
営業利益：525百万円

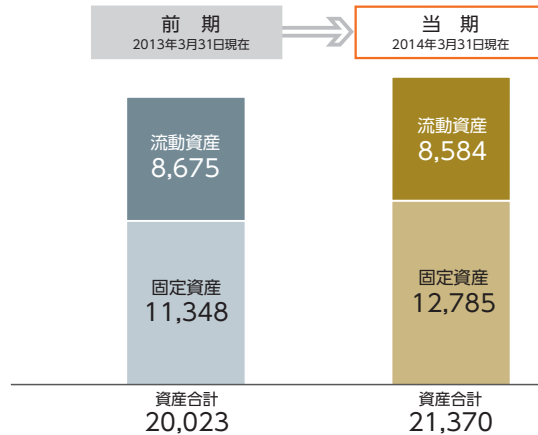
不動産事業につきましては、小規模賃貸住宅の稼働率が低下したもののほぼ前年同期並みに推移し、安定収益に貢献いたしました。

この結果、売上高は599百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益525百万円（同0.8%増）と減収増益となりました。

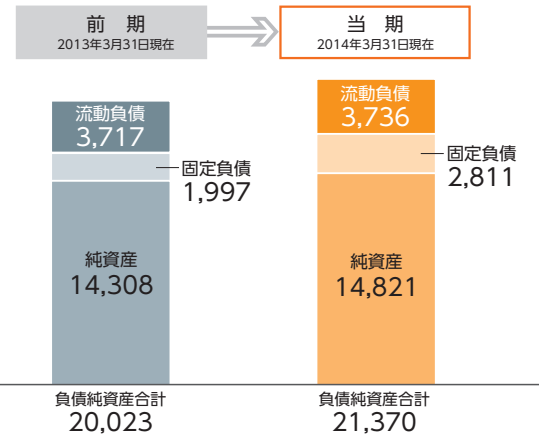


連結貸借対照表

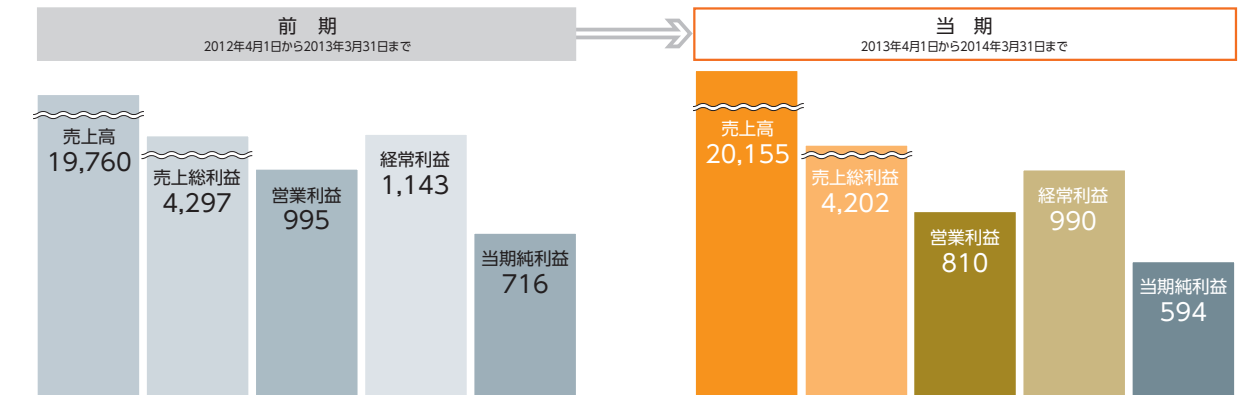
● 資産の部 (単位: 百万円)



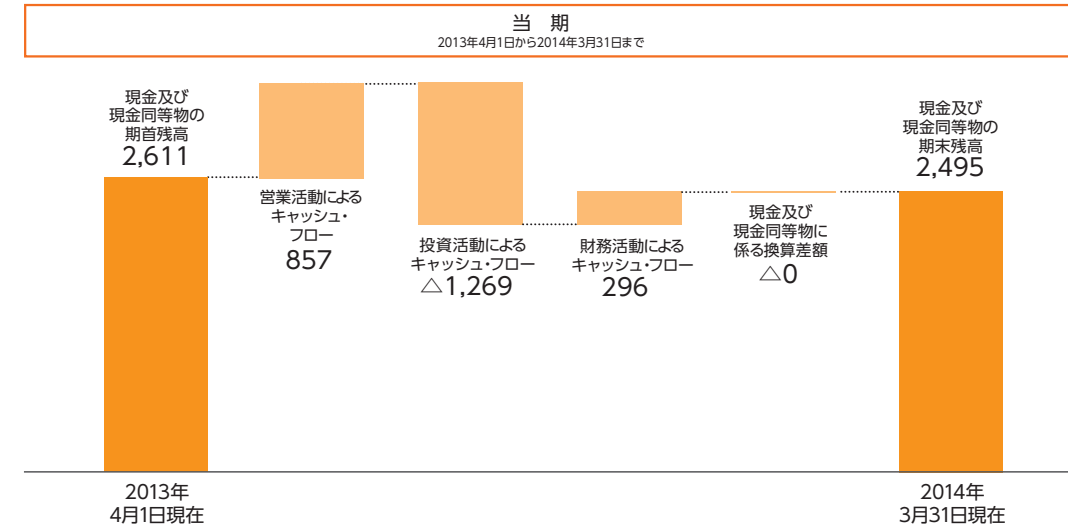
● 負債の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ1.0%減少し8,584百万円となりました。これは主としてたな卸資産の減少等によるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12.7%増加し12,785百万円となりました。これは主として建設仮勘定及び投資有価証券の増加等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ0.5%増加し3,736百万円となりました。こ

れは主として買掛金の増加等によるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ40.7%増加し2,811百万円となりました。これは主として長期借入金の増加等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3.6%増加し14,821百万円となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金の増加及び当期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

会社概要

商号 フジ日本精糖株式会社  
 英文名 Fuji Nihon Seito Corporation  
 設立 1949年(昭和24年)7月  
 資本金 1,524百万円  
 従業員数 63名  
 本社所在地 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号  
 電話 03(3667)7811(代表)  
 清水工場 〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号  
 電話 054(334)5353(代表)  
 横浜共同生産工場 太平洋製糖株式会社  
 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号  
 電話 045(501)0511(代表)  
 子会社 協立食品株式会社  
 ユニテックフーズ株式会社  
 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.  
 FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd.  
 関連会社 太平洋製糖株式会社  
 マ・マーマカロニ株式会社  
 南栄糖業株式会社  
 Unitec Is Co.,Ltd.

役員 (2014年6月18日現在)

代表取締役社長 船越 義和  
 取締役常務執行役員 高梨 繁憲  
 取締役常務執行役員 櫻田 誠司  
 取締役常務執行役員 櫻田 礎久  
 取締役相談役 江口 達夫  
 取締役相談役 佐藤 伸郎  
 取締役 村上 光廣  
 常勤監査役 高橋 宏寿  
 監査役 上平 徹  
 監査役 加藤 茂治  
 監査役 内藤 健雄

執行役員

常務執行役員 佐塚 眞弘  
 執行役員 梶原 久雄  
 執行役員 山崎 伸夫  
 執行役員 小島 康克  
 執行役員 福田 弘  
 執行役員 大口 真央

監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況

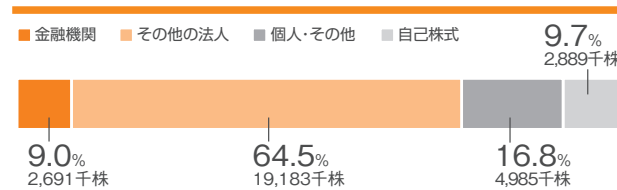
発行可能株式総数 110,000,000株  
 発行済株式の総数 29,748,200株  
 株主総数 3,653名

大株主

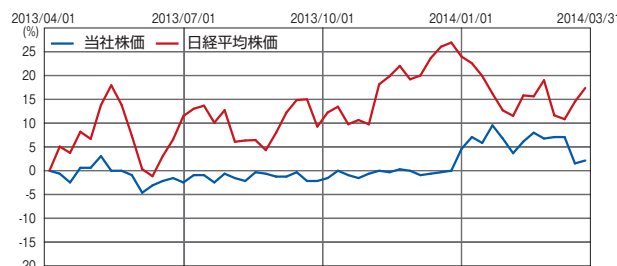
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
双日(株)	8,153	30.4
豊田通商(株)	2,459	9.2
鈴与(株)	1,402	5.2
和田製糖(株)	1,226	4.6
野村信託銀行(株)(信託口)	933	3.5
(株)静岡銀行	792	2.9
(株)榎本武平商店	558	2.1
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	500	1.9
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7
小倉運輸(有)	440	1.6

(注) 出資比率は自己株式(2,889千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



比較チャート (2013年4月1日を基準日とした当社株価と日経平均株価の騰落率)



トピックス 1

切花をより美しく長持ちさせる切花栄養剤のトップブランド「キープ・フラワー」に新ラインナップ

プロ愛用の水揚げ促進剤「ハイ・スピード」の小売用サイズが6月に新発売

昨年、産地・生花店向けの業務用サイズを発売し大好評のプロ用水揚げ促進剤「ハイ・スピード」の小売用サイズが誕生。「ハイ・スピード」は切花の切り口を原液にわずか3秒から5秒浸けて活けるだけで、切花をシャキッと水揚げするすぐれもの。



>> ホームページにて効果を動画で確認出来ます

Keep Flower



内容量/200ml(専用容器付)  
 ギフトとしてもお使い出来る  
 化粧箱入。

トピックス 2

タイのイヌリン生産工場開所式

タイに設立したイヌリン生産の合併会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.の新工場は、4月末から本格的商業生産に入り、5月23日に9人の僧侶による安全祈願を行い、株主、建設業者、従業員等、約160人参加のもと開所式を行いました。

Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.は、イヌリンの日本国内への販売はもとより、今後大きな需要の伸びが期待される東南アジア地域での販売を視野に、生産体制と品質の安定化に取り組んでまいります。



Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.の開所式の様子

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL <a href="http://www.fnsugar.co.jp/">http://www.fnsugar.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



## 株主優待制度のご案内

3月31日現在、当社株式1単元（1,000株）以上ご所有の株主の皆様へ、3,000円相当の当社商品詰合せを6月に贈呈いたします。



※株主優待品の一例。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や商品情報など様々な情報をご覧いただけます。また、ネットショッピングもお楽しみいただけます。



フジ日本精糖

検索

<http://www.fnsugar.co.jp/>